

## 進路だより vol.7

進路担当  
青山和裕

12月



発行日：令和7年12月25日

発行：進路指導係

冬の訪れを感じる季節となり、朝夕の冷え込みとともに、生徒一人一人が自分のペースで学校生活に向き合う姿が見られるようになってきました。これまでに行われた就業体験や校内での学習活動を通して、生徒一人一人が「卒業後の生活」や「働くこと」について、少しずつ具体的に考える姿が増えてきています。進路について考えることは不安を伴う場合もありますが、体験や学びを積み重ねることで、自分なりの将来像を描こうとする姿が見られています。今号では、12月に実施された沖縄県特別支援学校就業体験発表会およびPTA進路講話の報告、地域の支援施設の紹介、そして3学期に予定している児童生徒向け進路講話についてお知らせします。



## ① 沖縄県特別支援学校就業体験発表会

12月4日に開催された「沖縄県特別支援学校就業体験発表会」に、本校高等部2年の尾淵礼奈さんが発表者として参加しました。この発表会は、県内の特別支援学校で行われているキャリア教育や就労支援の取組を共有し、生徒同士や教職員、保護者、福祉・関係機関が一堂に会して学び合う大切な機会です。礼奈さんは、「老人介護施設の瑞穂の郷で実習し、サンレレの演奏や体操、脳トレを通して利用者さんと交流し、笑顔で接する大切さを学びました。声の大きさには課題が残りましたが、自分の得意なことを活かして高齢者と関わる楽しさを実感し、進路選択の幅が広がりました。」と発表しました。人前で話すことに不安や緊張を感じる様子もありましたが、事前に原稿を考え、繰り返し発表練習を行う中で、自分の経験を相手に伝える力が育ち、堂々と発表できました。また、他校の生徒の発表を聞くことで、さまざまな職種や作業内容、働き方、進路の形があることを知り、「自分にはどんな進路が合っているのか」「どのような生活を送りたいのか」を考える良い刺激となりました。発表を終えた後の表情からは、達成感や自信が感じられ、就業体験での学びが確かな成長につながっていることを実感する機会となりました。



## ② PTA 進路講話

12月19日には、保護者および職員を対象とした進路講話をワークサポートひびきの職員の方々をお招きし、実施しました。講話では、卒業後に利用できる福祉サービスの種類や、在学中に実施される就労選択支援事業、進路決定までの具体的な流れについて説明がありました。特に、本人の特性や得意なこと、生活面で必要となる支援を踏まえながら、学校・家庭・関係機関が連携して進路を考えていくことの重要性について、具体例を交えながら分かりやすくお話しいただきまし

た。卒業直前に慌てて進路を決めるのではなく、在学中から情報を集め、体験を重ねながら準備を進めていくことの大切さを、改めて確認する機会となりました。

### ③ 施設紹介

#### ■ ワークサポートひびき（名護市：就労移行支援事業所、B 型事業所）



ワークサポートひびきは、北部地区において就労選択支援事業を担当している事業所です。本人の希望や特性、生活状況、これまでの経験などを丁寧にアセスメントしながら、卒業後の進路や働き方について一緒に考えていく支援を行っています。就労選択支援事業では、一定期間の体験を通して、作業内容や職場環境が本人に合っているか、無理なく通えるか、どのような配慮や支援が必要かを確認していきます。事前・事後の面談を大切にし、本人の思いを丁寧に聞き取りながら、進路選択につなげていく点が大きな特徴です。また、学校や関係機関との連携を重視しており、情報共有を行いながら支援を進めています。本人だけでなく、保護者の不安や疑問にも寄り添いながら進路を考えていく姿勢は、本校の進路指導においても心強い存在となっています。

#### ■ us plus（アスプラス）（名護市：B 型事業所）

us plus（アスプラス）は、一般就労が難しい方を対象に、一人一人の体調や特性、ペースを大切にしながら、働く経験を積み重ねていく支援を行っています。本校の卒業生も在籍しており、卒業後の進路先の一つとして継続的に関わらせていただいている事業所です。事業所では、焼き芋やジャム、プリンなどの食品の製造・販売に取り組んでおり、製造工程や袋詰め、販売補助など、利用者それぞれの力に応じた作業を行っています。実際の販売活動を通して、働く喜びや達成感を感じることができる点も大きな特徴です。また、日々の通所を通して生活リズムを整え、安定した日常生活につなげる支援も大切にしています。利用者一人一人の「できること」や「頑張り」を丁寧に認め、小さな成功体験を積み重ねていく温かい雰囲気の中で、安心して通い続けることができる環境が整っています。卒業後の生活や社会参加を考える上で、心強い進路先の一つです。



### ④ 3 学期 児童生徒向け進路講話について

3 学期には、児童生徒を対象とした進路講話を予定しています。働くことや卒業後の生活について、ぜひ児童生徒に伝えてほしいことや講話してほしい方がいましたら、③の QR コードからよろしくお願いします。進路は一人一人異なり、正解が一つではありません。だからこそ、早い段階からさまざまな経験を積み重ね、自分に合った進路を考えていくことが大切です。今後も、学校・家庭・関係機関が連携しながら、児童生徒一人一人に寄り添った進路支援を進めていきます。

#### 【進路関係資料】

##### ①進路指導の手引き



##### ②進路指導に関する問い合わせ



##### ③進路講話アンケート

